

KSKQ

2024年度 第3号

オリーブだより



この一年をふりかえり

長いコロナ禍を抜けて、ようやく以前の様に皆で集まってご飯を食べたり、歌ったりできるようになり、販売や行事でも以前の賑わいが戻ってきたなあと、実感できた一年でした。

先日5年ぶりになります、サロン(こころのサポートふれあい交流サロン るまんやましな)にてサンクスデイと題して行事を実施しました。これまでも外出行事の「ぶらりサロン」は実施してきましたですが、サロンの広いとは言えない空間に地域の方々やメンバーさん、スタッフがギュッと集まってわいわいと楽しそうにゲームなどしている様子を見ますと、単純に「良かったな～、やっとな～」と思いますし、同時にこの状態がどれくらい続くのかな？という心配も常につきまといまいます。やはり生のふれあい、顔を見てお喋りしたりおいしいものを食べたりしながら育む喜び、信頼感がもたらす他者への理解、これに勝るものは無いと感じるからです。

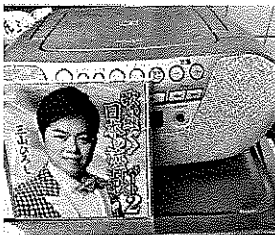
今年度も1年間色々ありました。変化していくこの時代の波の中で、オリーブは皆さんと一緒にあてもないこうでもない話し合いながら、一歩一歩、時にはちゃんと立ち止まりながら、しっかりと歩むことができた、そう思っています。

メンバーの皆さんやスタッフ同士、ご家族、地域の方々や他機関の方々とのかちボールを重ねること、その毎日の積み重ねがオリーブの在り方を作り上げているのだと思っています。

メンバーミーティングの席でベテランのメンバーさんから「オリーブの施設の理念は何ですか？」と聞かれて、少し長いお話しをしたことがありました。オリーブでは「理念はこれこれ」と定型で決まった条項を掲げてはいません。それは、オリーブという場所がまだ制度も無い時代に、わが子の将来を案じたご家族の思いからできてきた場所であるということに根本があると思っています。メンバーさん一人一人の必要に応じて、皆で相談しながら、一つ一つ形作られてきた支援の在り方は、常に変化しながら共に歩んで来たその積み重ねの中にあると思っています。

近年施設の役割の明確化・分業化が進み、就B(就労継続支援B型事業所)についてもその役割の線引きが厳しく言われるようになってきています。しかしメンバーさんの生活や長い人生の豊かさを考えた時、その定型どおりの線引きでは割り切れない事柄が沢山あることに気づかされます。ですから、常に「定型の決まり」とらわれず、色んな立場の方々と協力しながら、より良い方法は無いかな？を探し続けることが大切だよね！？と話し合い、そして実践してきたのだと思いますし、それができる限りオリーブの歩みは止まることは無いのだと思っています。

また新しい年度がスタートしますね。(正岡)



内職・自主製品の作業場。
今年度一番の再生でした



綺麗なオクラの花に
ハチゴロリ



お肉の食べる量が減ってき
ましたBBQ



大根で手作り漬物。
ラップでくるくる



グッバイ アトレー

20年以上に渡りオリーブのために働いてくれた車のアトレー。かすり傷をもものともせず、安心感を最後までありがとう！最後は集まった人と記念撮影



西醍醐寺でのこと

醍醐寺さんから、昨年の秋にトイレ清掃箇所の追加のお願いがありました。醍醐寺さんの職員の方と来賓の方が利用される場所で、少し緊張するのですが、これまで通り丁寧に清掃作業を行っています。こころなしか職員さんが、これまで以上に丁寧に挨拶をしてくださることが増えたような気がしています。



落ち葉の撤去作業



トイレ清掃

また今年に入ってから、落葉が長期間たまっているところがあり、これまでオリーブで営繕したことがない場所でしたが、こちらから提案をして落葉の撤去作業に取り組みました。

現在4名のレギュラーメンバーと職員で、これまで以上にチームワークを大切にして取り組んでいます。見学・体験いつでもお待ちしております。



3月5日(水)にコロナ以降中止になっていたサロン・サンクスデイを開催しました。

コロナ以前はサンクスXmasとして30名を超える参加でしたが、今回は規模を縮小して開催、17名の方たちと自己紹介やクイズ、ビンゴを通して交流ができました。コロナで突然つながりが切れてしまい、切ない想いや淋しい気持ちを感じていましたが、また繋がれた事を実感できました。

これまでの人たちと新しい人たちとの出会いがあり、暖かな雰囲気があたたかな連鎖を生んでいました。お互いの存在を認め合い許し合える場としてこれからも継続していきたいと思っています。

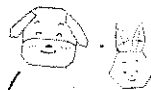


ビンゴゲーム。当たったものは必ず見せます



加工で作ったシフォンケーキ

こども食堂



2025年の1月から、るまやましなでこども食堂がスタートしました。こども食堂プランタンさんが主催され、オリーブも場所を提供する形で携わらせていただいております。

・毎月第三日曜日
14:30~16:00まで



こども食堂プランタン

この度、山科の大森地区に暮らす有志が中心となり、令和6年10月25日「こども食堂」を立ち上げました。はじめて子どもや高齢の方々の居場所となることを願っています。皆様のお問い合わせお待ちしております。

「こども食堂」オープン!!

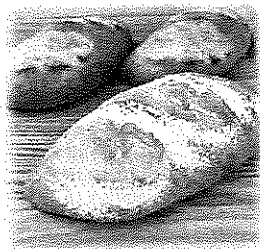
日曜・O月19日(月)18日(水) 14:30~16:00
お昼ご飯(無料) トリッパ無料!

O月19日(月)19日(水) 14:30~16:00
お昼ご飯(大人200円)子ども100円
おやつ(無料) トリッパ無料!

(毎月第三日曜日)
場所:O2エー 全通入学生舎
(京都市山科区大森町1-2-2)



一九九一年九月三日第三種郵便物承認 毎月(1. 2. 3. 5. 6. 8の日)発行



白神こだま酵母・国産小麦使用の全粒粉バケット
おいしさ保証します

私がパンを買ってくると母はいつも「パンより野菜を買いなさい」とこのように感じで返事がくるのです。
ところがある日、私が全粒粉パンを買ってきて食べやすいように切っておいてあったパンを母が食べて「このパンおいしいね」と言ってくれたのです!!
素朴な味の全粒粉パン、また他のパンもみなさんに食べていただきたいです。みなさんのご来店お待ちしております。

私のオススメの
O オリーブパン

オリーブだよりを読んで下さっているみなさん、こんにちは。

加工で作業をしているものです。

ずばり私のオススメのパンは全粒粉パンです。値段はなかなかのパンなのですが、このパンは私の母が唯一認めてくれたパンです。



ちっし 小話



「夢について」



「もしも、今日から”スマホ”が使えなくなったらどうしますか？」

私は精神科病院に一年間入院をし、スマホの使えない生活を送っていました。普段、長時間使用したり、見ていないと落ち着かないといった気分も無く、苦痛は感じませんでした。入院中は、先生や看護師さん、ワーカーさん、ときには家族。言葉（話し伝える事）が特に大切になりますが、現代は会話・電話以外に、「メール（LINE）」が主体になっているため、話す際に、「曜日や時間帯」を気に掛けられる方や自分本位にならず、相手の状況を考えられる方は少ないのではないのでしょうか。しかし、入院を通し気付いた事。例えば、先生の出勤の予定や看護師さんの都合の良い時間を教えてもらったり、忙しそうであれば次に話せるよう事前に「メモ」を書いて渡したり…

「紙とペン。」通信機器が使えなくなると、相手に伝える手段として、人は“書くこと”を求め行い、また、文字にしか表すことの出来ない感情や頭の整理にもなり、相手の事を思い考えている時間は心が踊り、同時に嬉しさも芽生えると感じたのです。

私は人間関係が分かりませんし、得意でもありません。それでも入院生活は私に「お話をすることの楽しさ」みたいなものを感じさせてくれ、心を育ててもらえた様に思います。

皆さんも日常生活に少しでも“デジタルデトックス”を取り入れ、人との会話を豊かにしてみませんか？（ヒトミ）

少し前に、ふとアンチョコビを作りたくなり、自宅で真鯛を用いてトライしてみた。数カ月後、商品さながらの代物となっていた。

食繋がりと言えば、ワインも同様。熟成過程で、香り、色をはじめ、甘み、酸味、渋みのバランス、複雑な味わいに個性的な光を放つ。

光を放つと言えば、最近YouTubeを視聴していたら、10円硬貨を磨くことによって、発行された当時のピカピカの状態に仕上げるという動画を偶然目にした。私も自宅にギザ10という1955年頃発行の少しだけ珍しい硬貨を保管してあったので、物は試しにと動画を参考にしながら磨き上げてみた。するとどうだろう。日頃私達が目にする何の変哲もない10円硬貨が、想像もできないほどのまばゆい光を放つ70年前当時の姿を露わにした。

人間も同じだなあ、と。この世に生を受け、環境に揉まれ続ける過程で、少しずつ変化を遂げていく。（松岡）

Tの眼鏡店に行き始めて18年。何をするにも視力は要るので、自分に合うメガネは欠かせない。

その店のスタッフで特に世話になった方が70歳を迎えられ、間もなく勤務を終えるという。カウンターから離れて今後の事を聞くと、「マニラの眼鏡店で技術指導をすることになりました」と。

元々、接客販売よりも技術系の仕事を中心にされていたが「これからは、やりたい仕事に専念できます」と話してくれた。

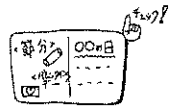
その店にも、技術を伝えたスタッフを残しての「旅立ち」である。

70歳といえば、私には18年先に当たるのだが、その方にとっては、まだやりたい事が出来るという訳だ。

とに角、夢のある話に感動。最後の勤務日に合わせてもう一度、お店に行ったのは言うまでもない。（elm）



117.



「広告に振り回される現代社会」

私たちの身の回りには、さまざまな広告があふれています。

何気なく町を歩いている、インターネットに接続していても、全く見かけない日はないのではという印象です。

近いところで2月では、節分の前には恵方巻き、バレンタインデーの前にはチョコという言葉をそこかしこで見かけます。

一方で、例えば12月9日や少し前の2月20日が何の日かを御存じの方は少ないのではないのでしょうか。

もしわからない場合は調べていただければと思いますが、この知っているかそうでないかの違いが生じる理由の一つに、お金になるかどうかという差があるのではと私は考えます。

お金になる＝商品が売れるので、関係する会社等は人や資金を使って広告をつくり、それを流したりするわけです。

しかし、12月9日は障害者の日だからといって特別に何か売れるということでもないでしょうから、テレビやインターネットで見た記憶は、私はありません。

そうして置き去りにされている部分が、この国の現状を見渡したときにどこかしらあるのではと、それらの甘くておいしいような広告を見て、よく感じるのです。（E17）

一九九一年九月三日第三種郵便物承認 毎月(1. 2. 3. 5. 6. 8の日)発行

「伝わるもの」 理事長のひとこと

京都新聞に福祉のページという特集があり、福祉施設の職員等を取り上げて、なぜ福祉の仕事しようと思ったのか、どのようなことがやりがい等々の話を聞き、記事にしてくれています。今回は「若葉」と題し、おそらく若手職員のことを取り上げてくれているのだと思いますが、20代の女性職員が、「利用者さんや周りの職員など、いろいろな人と関わることで人として成長できるのが福祉の仕事の魅力」だと話されていました。とても素直で、響く言葉です。そして、「若い人たちに、どうすればこの魅力が伝わるのか」とも。

福祉の仕事の面白さややりがい等を伝えるのは、容易ではありませんし、ともすると支援する側としての自分の思いだけの一方通行になってしまいます。よく支援者が良い支援が出来たと思う時が、一番危険だと言われます。自分の思う通りに、言った通りにしてくれた、それが本人にとっていいことなんだとパターンリズムに陥り、その経験が相手をコントロールすることへの報酬になってしまうからです。ある研究者は、援助関係を①一方的関係、②相互的關係、③循環的關係だと分類しています。①は援助者が一方的な判断をし、その判断に基づいて、一方的にクライアントに働きかける関係。②は援助者とクライアントそれぞれが、共通な関心事の範囲で、折り合いを求めてかかわりあう関係。③は援助者とクライアントが、お互いに自分の見方を、相手の見方を通して見直していく関係。この③にこそ、新聞記事にあった、福祉の仕事の魅力、人としての成長があるのではないかと思います。当事者の方から、あなたの成長のために私がいるわけではないと叱られそうですが、でもやはり私たちは当事者の方との関りの中でこそ成長できるのだと思います。社会の知らなかったことや人の知らなかった一面に気付き、その気付きが自分の見方の偏りや視野の狭さを照らし、はっきりとさせてくれ、その結果言葉が変わり、態度が変わり、姿勢が変わる。そのことがまた、支援の場において、当事者の方に影響を与え、場合によっては信頼関係を築く一助となり、あなたの言うことなら少し耳を傾けてもいいのかなと思ってもらえる。正に循環する関係がそこにはあります。そんな循環の上に様々な技法等が存在するのでしょうか。この魅力が伝わるのか、きっと記事の女性に伝わっていたみたい、今福祉の仕事をしている誰かの言葉がこれからの福祉を動かしていくのだと思います。

一九九一年九月三日第三種郵便物承認 毎月(1, 2, 3, 5, 6, 8の日)発行

着物寄付のお願い

オリーブでは寄付で頂いた着物や糸で、いろいろな製品を作っています。頂いたものが形を変えて、誰かの元へ届くよう、大切に使用させていただきます。

編集後記

- ・続報です。山科検定、無事に受かりました。2級でした。合格すると、カードとバッジがもらえるそうで、今は記念品を待っていますw 読んで頂き、ありがとうございました。(ヒトミ)
- ・気分が優れない時、ストレスケアのアロマスプレーを部屋にプッシュしています。一瞬違う香りを感じると一息つける感じがしておすすめです。(はま)
- ・日ごろ感じていたことを、小話の欄へ今回書かせていただきました。こうして考えをまとめることで、また一歩掘り下げていけるような気がします。(E17)

オリーブだより 2025年3月編集
 発行人
 関西障害者定期刊行物協会
 大阪市天王寺区真田山町2-2
 東興ビル4階
 編集人
 オリーブホットハウス
 社会福祉法人 オリーブの会
 京都市山科区東野中井ノ上町3-33
 TEL : 075-591-4669
 FAX : 075-591-4679
 ホームページ <http://olive-net.info/>
 フェイスブック <https://www.facebook.com/olivehothouse/>
 メールアドレス
 olive-cw@rio.odn.ne.jp
 定価 50円

※オリーブだよりのバックナンバーを読みたくたい方は、ホームページに掲載しております。

いつもありがとうございます。
 岩村チエ子様、佐藤純様、大河内清子様、木谷真人様、秋山英雄様、木谷恵様、(株)大曜様、京都奉製(株)様、大井啓吾様、(株)イゴ様、京都ほっとはあとセンター様、本山醍醐寺様、洛和会ヘルスケアシステム様、関西よつ葉連絡会様、(株)よつ葉ホームデリバリー京滋様、竹之内運送(株)様、無印良品京都山科店様、里地会クリニック様、(株)ヤマシナ様、オーガニックマーケットしが実行委員会様、国際交流の会とよなか様、ケーアンドアイ様、近畿オービス(株)様、カフェブランタン様、(株)福) 新明塾様、京都市ごみ減量推進会議様、大宅学区社会福祉協議会様、山科区社会福祉協議会様、大宅学区民生児童委員会協賛会様、山科区役所保健福祉センター様、京都府高齢者支援課様、山科区役所子どもはぐくみ室様 (令和六年十二月より令和七年三月順不同)